



図書館だより



H28.11.1



秋といえば、スポーツの秋、芸術の秋、食欲の秋・・・夏の暑さも和らいで、夏に比べれば夜も長くなり集中しやすく、何かに打ち込むのに適した季節ですね。

中国の唐時代の詩人『韓愈かんゆ』の漢詩には「燈火とうか稍ようやく親しむ可へく」という一節があります。秋になるとさわやかになり、夜長にもなるので、秋の夜は明かりになれ親しみ、本を読むのに最適であるという意味です。

みなさんも、ゆったりと本を読んで心に栄養をあげましょう。



秋のおたより

金子みすゞ

山から町へのお便りは、
「柿の実、栗の実、熟れ候、
ひよどり、鶉、啼き候、
お山はまつりになり候。」
町から山へのお便りは、
「燕まがみんな、去に候、
柳の葉っぱが散り候、
さむく、さみしく、なり候。」



全国読書週間 ～本をたくさん読もう～

10月27日（木）から11月9日（水）は「全国読書週間」です。

その時期に合わせて、今年度も本校では11月15日（火）、16日（水）、17日（木）の3日間「読み聞かせ」を行います。今年度も縦割り班毎の活動です。

1～6年生は、顔なじみのお兄さんお姉さんに読んでもらうことを楽しみにしています。「どんな本を読んでくれるのかなあ。」「きっと7・8・9年生は上手に読むだろうなあ。」など期待もしていることでしょう。小さな頃の心温まる思い出は、いつまでも心に残るものです。上手に読めなくても、明るい声と笑顔を向けた読み聞かせをしましょう。



がんばったね！読書感想文

夏休みの課題となっていた読書感想文コンクールには、今年度もたくさんの応募がありました。応募された作品の中から、茨城県読書感想文コンクール水戸市展に入選したみなさんをご紹介します。

【茨城県読書感想文コンクール 水戸市展入賞者】

- | | | |
|-------|-------------|--------------------|
| 【最優秀】 | 該当なし | |
| 【優秀】 | 8年 西山 雛乃さん | 「もつべきものは親友」 |
| | 6年 白田 愛佳さん | 「家族のつながりを感じて」 |
| | 5年 坂本 琉那さん | 「十五少年漂流記を読んで」 |
| 【佳作】 | 9年 矢ノ倉 航希さん | 『「幸せなこと」とは』 |
| | 7年 根本 紘汰さん | 「ABC！曙第二中学校放送部」 |
| | 4年 戸崎 千尋さん | 『「十歳のきみへ」を読んで』 |
| | 2年 西山 拓実さん | 「ぼくの気もち通ちょう」 |
| | 1年 小田倉 大樹さん | 「トリケラトプスとテリジノサウルス」 |



秋のおたより

金子みすゞ

山から町へのお便りは、

「柿の実、栗の実、熟れ候、

ひよどり、鶉うぐい、啼なき候、

お山はまつりになり候。」

町から山へのお便りは、

「燕つばきがみんな、去いに候、

柳の葉はが散り候、

さむく、さみしく、なり候。」